

# 言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (廿日市市立金剛寺小学校)

- ① 教科等 生活科      ② 学年 第2学年
- ③ 単元名 いきいきキラキラ生きているー生き物となかよくなりたいー
- ④ 本時の目標 飼育している生き物のとっておきのお話を1年生に分かりやすい伝え方になるように工夫することができる。
- ⑤ 学習の流れ (11・12時間目/全18時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 クイズに答える。 2 めあての確認をする。 いきものの とっておきのお話が 1年生につたわるように くふうしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に書いた気付きカードを用いて、どの生き物のことか当てさせ、雰囲気作りをする。</li> <li>・「1年生に伝わるための工夫」について確認する。 (例: 伝えたいことを絞る, 言葉だけでなく絵・動作・劇化等多様な表現方法を使う, 易しい言葉を使う, 伝わっているか表情を見ながら話す等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育している生き物について最も伝えたい内容をどのように伝えればよいか考え, 1年生にわかりやすい伝え方になるように工夫している。 〔活動や体験についての思考・表現〕 (児童観察, 発言あゆみシート)</li> </ul>
3 発表の準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「とっておき」を意識させ, 発表用ワークシートの中でも一番伝えたいことが分かるようにさせる。</li> <li>・どのように表現するか問いかけ, 多様な表現方法を使って表現している児童の発表を紹介する。</li> <li>・言語以外の表現方法で表している児童には, 発表の際に言語を添えさせたり, 言語に置き換えさせたりするような働きかけをする。</li> </ul>	
4 発表者と参観者に分かれてリハーサルを行う。 ① 1グループごとに発表させ, それ以外のグループの児童に参観させる。 ② よかった点, 改善点など参観者の気付きを交流する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参観するときの視点を押さえる。 (伝えたいことが分かったか, 1年生にとって分かる説明だったか)</li> <li>・第1学年担任にリハーサルを参観してもらい, 最後にコメントしてもらう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【リハーサルで目指す児童の姿】</p> <p>〔発表者〕一番伝えたいことを, 多様な表現方法を使って, 分かりやすい言葉で, 相手を意識しながら発表する。</p> <p>〔参観者〕「伝えたいことが分かったか」「1年生にとって分かる説明だったか」という視点で参観し, よかった点や改善点に気付く。</p> </div>	
5 学習の振り返りと次の学習活動の確認をし, 展望をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あゆみシートに記入する。 1) 今日, 学習したこと。2) 分かったことや次にしてみたいこと等記入し, 感想を交流する。</li> <li>・次時の学習内容を確認する。</li> </ul>	

「言語活動の充実」

設定した言語活動を通して育てたい力

- 生き物に関する活動の楽しさを味わうことを通して気付いたことや伝えたいことなどについて, 言葉, 絵, 動作, 劇化などの方法により表現し, 考えることができる。

言語活動の充実のための工夫

- 「①伝えたい内容の明確化」「②1年生に分かる説明」の2つの視点を意識できるように発表用ワークシートの形式を工夫する。
- 劇, 絵など多様な表現方法を使って表現できるよう働きかける。
- どのように表現するか問いかけたり, 表現したい内容を言語化できるよう言葉かけをしたりする。